

説明文の要旨をえらぼう

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 食品ロスを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

まだ食べられるのにすてられる食品を「食品ロス」という。食品ロスと聞くと、売れ残りをすてる店や工場を思いうかべる人が多い。しかし、日本の食品ロスのおよそ半分は、家庭から出ている。買いすぎや作りすぎ、食べ残しが重なっているのだ。食品ロスをへらすかぎは、わたしたちの台所の中にもある。

- 1 食品ロスのおよそ半分は、店や工場から出ている。
- 2 食品ロスの大部分は、店や工場から出ている。
- 3 食品ロスの大部分は、家庭から出ている。
- 4 食品ロスのおよそ半分は、家庭から出ている。

2 持久走を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

持久走の大会で、はじめから前の人について全力で走った。ところが、半分以上を走ったところには息が上がり、最後は歩きそうになるほど苦しかった。次の年は、決めた速さを最後まで守って走った。すると、ゴールまで楽に走り通せた。ただ、記録は前の年とほとんど同じだった。

- 1 長いきよりは、同じ速さで走り通すと楽に走れる。
- 2 長いきよりは、はじめに前に出ると記録がのびる。
- 3 長いきよりは、はじめに前に出ると楽に走れる。
- 4 長いきよりは、同じ速さで走り通すと記録がのびる。

3 学級会を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

学級会で反対意見が出ると、つい言い返したくなる。この前は、まず「どうしてそう思うの」と理由をたずねてみた。すると、反対していた人は、雨の日は体育館を使えると知らなかっただけだと分かった。そのことを伝えると、計画は一つも変えずに、話し合いはすぐにまとまった。

- 1 反対意見は、すぐに言い返すと、早く話がまとまる。
- 2 反対意見は、理由をたずねると、早く話がまとまる。
- 3 反対意見は、すぐに言い返すと、計画がよりよくなる。
- 4 反対意見は、理由をたずねると、計画がよりよくなる。

4 晴れとくもりを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

空に雲が多いと、くもりだと思いがちだ。しかし、天気を決め方では、空全体を十として、雲が八までなら「晴れ」とする。雲が九以上になって、はじめて「くもり」になるのである。雲が広がっていても、すき間から青空がのぞいていれば、それは晴れなのだ。

- 1 雲の量で天気を決めるときは、目で見て数える。
- 2 雲が空の半分をこえたら、天気はくもりとよばれる。
- 3 雲が空の多くをおおっていても、晴れのことがある。
- 4 雲がほとんどない空の天気は、快晴とよばれる。

説明文の要旨をえらぼう【こたえ】

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

店や工場を思いうかべる人が多いが『日本の食品ロスのおよそ半分は、家庭から出ている』とあり、かぎは『台所の中にもある』とまとめています。

2 答え：1

全力で前に出ると『最後は歩きそうになるほど苦しかった』。決めた速さを最後まで守ると『楽に走り通せた』。記録は『ほとんど同じだった』とあります。

3 答え：2

理由をたずねると、知らなかっただけだと分かり『計画は一つも変えずに、話し合いはすぐにまとまった』とあります。

4 答え：3

雲の量が『八までなら「晴れ」』とあり、『雲が広がっていても…それは晴れなのだ』とまとめています。雲が半分をこえてもくもりではありません。

読み取るコツ

「しかし」「ところが」のあとに書かれた結果から、筆者の考えをつかみます。

説明文の要旨をえらぼう

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 写真をよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

運動会のつな引きを、二人が同じ場所から、同じ広さで写真にとった。一人目は、みんなが歯を食いしばってつなを引いたしゅん間をとった。もう一人は、合図の前に、みんなが笑って話していたしゅん間をとった。どちらの写真にもうそはない。それなのに、一まいは真けんな勝負に、もう一まいはのんびりした遊びに見える。

- 1 写真は、とるしゅん間によって、見る人の受け取り方が変わる。
- 2 写真は、うつす広さによって、見る人の受け取り方が変わる。
- 3 写真は、とるしゅん間によって、写っていることの正しさが変わる。
- 4 写真は、うつす広さによって、写っていることの正しさが変わる。

2 係の仕事をよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

学級の生き物係を、一人ずつ交代でやっていたころは、水そうのそうじに、毎回三十分近くかかっていた。そこで、二人組にして、水をくむ人とあらう人に分けることにした。すると、そうじは十分ほどで終わるようになった。ただ、えさやりをわすれる日は、前と同じくらいあった。

- 1 係の仕事は、一人ずつ交代でやると、わすれにくい。
- 2 係の仕事は、一人ずつ交代でやると、早く終わる。
- 3 係の仕事は、二人組で分けてやると、わすれにくい。
- 4 係の仕事は、二人組で分けてやると、早く終わる。

3 計画表をよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

夏休みの計画表に、毎日の予定を時こくごとに細かく書いた。ところが、一日ずれただけで、その先がみんなくずれ、宿題が終わったのは八月の終わりだった。次の年は、一週間ごとに「やること」だけを書いた。予定どおりにできない日は前の年と同じくらいあったが、宿題は八月の半ばに終わった。

- 1 計画表は、毎日の予定を細かく書くと、早く終わる。
- 2 計画表は、一週間ごとにやることだけ書くと、早く終わる。
- 3 計画表は、一週間ごとにやることだけ書くと、守りやすい。
- 4 計画表は、毎日の予定を細かく書くと、守りやすい。

4 防災マップをよんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

市の防災マップで自分の家をさがすと、大雨の時には水につからない場所だった。これで安心だと思った。ところが、通学路をたどると、とちゅうの橋の近くが、深く水につかるおそれのある場所になっていた。家が安全でも、そこまでの道が安全とはかぎらないのだ。

- 1 防災マップは、昔の地図とくらべながら見ておくべきだ。
- 2 防災マップは、家族とひなん場所を決めながら見るべきだ。
- 3 防災マップは、家までの道すじもたどって見ておくべきだ。
- 4 防災マップは、自分の家の場所をまず確かめておくべきだ。

説明文の要旨をえらぼう【こたえ】

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

二人は『同じ場所から、同じ広さで』とり、『うそはない』。とったしゅん間がちがうだけで『真けんな勝負』にも『のんびりした遊び』にも見える、とあります。

2 答え：4

一人ずつだと『三十分近くかかっていた』。二人組に分けると『十分ほどで終わる』ようになった。わすれる日は『前と同じくらい』でした。

3 答え：2

細かく書くと『八月の終わり』まで、一週間ごとに書くと『八月の半ばに終わった』。予定どおりにできない日は『前の年と同じくらい』でした。

4 答え：3

家は安全でも『通学路をたどると…水につかるおそれのある場所』があった。『そこまでの道が安全とはかぎらない』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「ところが」のあとに書かれた結果から、筆者の考えをつかみます。

説明文の要旨をえらぼう

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 漢字の覚え方を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

漢字テストの前、教科書を何度も読み返していた。読んでいるときは分かった気になるのに、テストになると書けない。そこで、本をとして、覚えた字を何も見ずに書き出す練習に変えた。思い出せない字は、そのつど確かめた。すると、点数がぐんと上がった。

- 1 覚えるには、教科書を何度ももていねいに読み返すとよい。
- 2 覚えるには、何も見ずに思い出す練習をくり返すとよい。
- 3 覚えるには、何日かあけて、同じ練習をくり返すとよい。
- 4 覚えるには、人に教えるつもりで説明してみるとよい。

2 森と海を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

カキを育てる漁師が、海から遠い山に木を植えている。山の森の落ち葉がくさってできた土には、カキのえさになる小さな生き物を育てる養分がふくまれる。その養分が川を通して海へ運ばれ、海を豊かにするのだ。海のめぐみは、山の森に支えられているのである。

- 1 海の養分が、山の森の生き物のえさを育てている。
- 2 山の森の養分が、海の生き物のすみかを作っている。
- 3 山の森の養分が、海の生き物のえさを育てている。
- 4 海の養分が、山の森の生き物のすみかを作っている。

3 さか上がりを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

さか上がりが、なかなかできなかった。上手な友だちの動きを見て、まねをしてもうまくいかない。ある日、自分の動きを動画にとってもらった。見ると、うでを曲げているつもりなのに、うでがのびて、体が鉄ぼうからはなれていた。直す所が分かったと、すぐにできるようになった。

- 1 上達するには、自分の動きを動画で外から見るとよい。
- 2 上達するには、できない動きを小さく分けて練習するとよい。
- 3 上達するには、できたときの感じを言葉にして残すとよい。
- 4 上達するには、あきらめずに何度も練習するとよい。

4 道案内を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

道を聞かれて、「二つ目の角を右、その次を左」と教えた。ところが、その人は通りすぎてもどってきた。角が多く、どれが二つ目か分かりにくかったのだ。次からは、「ポストのある角を右、赤い屋根の家の所を左」と、目印で伝えるようにした。説明は少し長くなるが、まちがえる人はいなくなった。

- 1 道案内は、角の数で伝えと、まちがえにくい。
- 2 道案内は、角の数で伝えと、短く伝えられる。
- 3 道案内は、目印で伝えと、短く伝えられる。
- 4 道案内は、目印で伝えと、まちがえにくい。

説明文の要旨をえらぼう【こたえ】

小5／文章を読んで、筆者がいちばん伝えたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：2

読み返しても『テストになると書けない』。『何も見ずに書き出す練習』に変えたら点数が上がったとあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

2 答え：3

森の土の養分は『カキのえさになる小さな生き物を育てる』。それが『川を流れて海へ運ばれ』とあります。海から山へではありません。

3 答え：1

友だちを『まねをしてもうまくいらない』。動画で自分の動きを見て『直す所が分かった、すぐにできるようになった』とあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

4 答え：4

角の数では『どれが二つ目か分かりにくかった』。目印で伝えたと『説明は少し長くなるが、まちがえる人はいなくなった』とあります。

読み取るコツ

「しかし」「ところが」のあとに書かれた結果から、筆者の考えをつかみます。